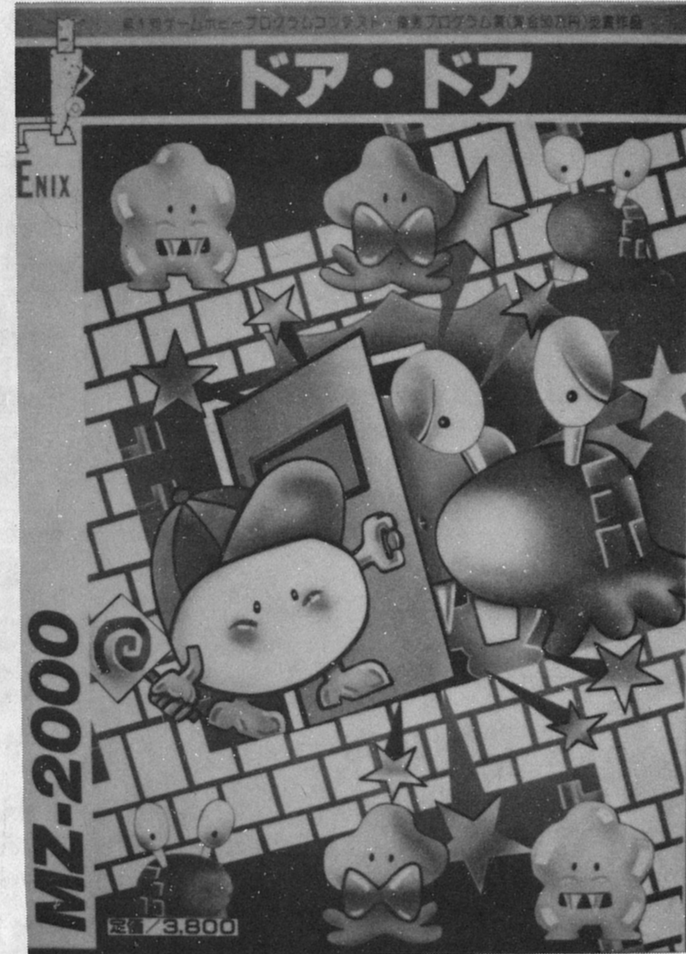
㈱エニックス

東京都新宿区西新宿7－15－10
TEL. 03-366-4251㈹

THE BOOK FOR HOW TO GAME

ドア・ドア

(MZ－2000)

プログラムコンテストの経過

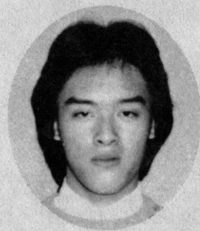
アメリカでは、優秀なプログラムを作る若きニュースター達が活躍しています。今や彼らの作ったゲームプログラムが発表されると予約が殺到し、アイドル歌手と同様にファンレターが舞い込む状況になっています。このようにアメリカではスタープログラマー達の知名度が上り彼らの社会的地位は確立されています。

我国にも、数多くの優秀なプログラマーがいますが、一部を除き諸外国に比べ正当な評価を受けているとはいえません。それは開発したプログラムを発表する場が少ないのが一因と思われます。

当社ではソフトウエアの健全な発展を願い、優秀な人材の発掘と開発しやすい環境の一助になればとの思いで「第1回ゲームホビープログラムコンテスト」を開催した次第です。お陰様で、今日皆様にご紹介できる程のすばらしい作品が多数集まりました。これは皆様方に、当社の主旨をご理解いただきすばらしい作品を応募していただいた結果だと思います。参加応募者の年令も10才から53才までと幅広く、パソコンのプログラムを始めてから1年未満の方々も多数おられました。そして、プログラム経験の少ない人でも、ゲームとしてのアイディア、オリジナリティのある企画等が優れているので入賞した方もいました。これらの入賞作品を見てもこのコンテストのレベルが非常に高いと思われます。中でも数本については、日本での最高水準だと思います。

これら優秀な作品を世に出せた事は㈱エニックス主催「ゲームホビープログラムコンテスト」が、プログラムに興味ある優秀な皆様の発表の場として、権威あるコンテストとして位置づけられたと思っています。

我社では、このコンテストを通じて、優秀で才能のあるプログラム作者を世に紹介するよう努力しています。

作　者　紹　介

中村光一

昭和39年香川県生れ。香川県在住。香川県立丸亀高等学校在学中。マイコン歴3年。今まで私の作品は専門誌にも紹介され、全て商品化され評判になっています。今回の作品はデザイン・サウンド・プログラムとグループで作り私達の最高作品。

●メモ●

使用機器

ＭＺ－2000＋グラフィクＲＡＭ

使用言語

機械語

ローディング方法

○ＢＡＳＩＣのローディング方法

① ＭＺ本体の電源を入れると、画面に「MAKE READY CMT」が表示され、カセットケースが開きますので、ＢＡＳＩＣテープをセットし、ケースを閉めてください。

② テープが回り始め、メッセージが次々と表示されます。「Ready」が２分後位に表示され、ＢＡＳＩＣのローディングが終りました。

○ゲームのローディング

① ＢＡＳＩＣが終りましたら次にカセットケースに、ゲームプログラムに入れかえて、ケースを閉めて下さい。

② [M][O][N] と入力して [CR] キーを押します。

③ ＊が表示されますので[L]と入力して[CR]キーを押します。

④ FILE NAME:　と表示されますので[CR]キーを押します。

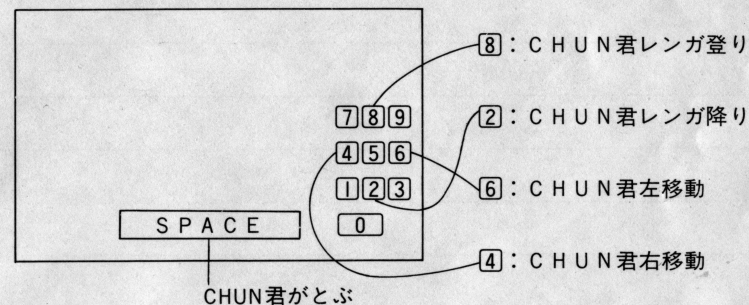
⑤ LOADING DOOR DOOR　と表示されプログラムがよまれます。

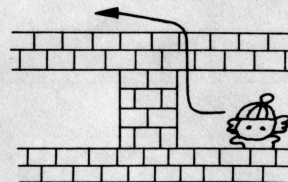
⑥ 自動的にゲームが始まります。

ゲームのやり方

うまくＣＨＵＮ君を動かしＭＡＭＥＧＯＮ、ＩＮＶＥＫＵＮ、ＡＭＥＣＨＡＮらのＡＬＩＥＮを引きつけドアにとじこめてください。ドアを開けるときは取手のある方からドアの前を通過します。一度ＡＬＩＥＮをとじ込めたドアは使えません。画面は20面まで変りますがだんだんむずかしくなってゆきます。ローカに出ているクギはジャンプして飛び越せます。ＡＬＩＥＮを次々にとじこめて画面を変えてください。

プログラムがスタートするとデモンストレーションがあります。ここでキャラクタの紹介、得点について、ＣＨＵＮ君の動かし方を説明します。デモ中に[↵]を押すとゲームが始まります。

キー操作

（秒動のコツ）

レンガ階段の登り降りは右左移動キーと登り降りキーを同時に押すとスムーズにできます。

左の例の場合は、[4]と[8]と押しているとスムーズに移動することができます。

ゲームのこつ

各キャラクタの動きには面毎に特徴を持っていますから動きを良くおぼえるとよいでしょう。又ＡＬＩＥＮは一度にとじこめてしまうくふうをするとゲームがよりおもしろいでしょう。

このゲームは奥が深いのでやればやるほどおもしろさがわかってきます。

●メモ●

ドア・ドア

かわいいチュン君は夢を見ました。ふと目を開けると、今までに見た事のない、花や鳥が飛んでいるのが目に入りました。森の中のようです。爽かな風がほおに当り、明く輝く太陽は木々の間から鋭い光を放っていました。今日の気分は最高です。足取りも軽く森の奥へと走りました。小さな川がありました。中から魚が声を掛けてきました。「君、どこから来たの！。あまり見かけない子だな」「うん。この森は初めてなんだ」「名前は何と言うんだね。」「チュン君だい」「そうか。この橋を渡って、あの森の奥へ行ってごらんよ。お菓子の塔があるよ。そこにはいたずら好きのナメちゃん・インベくん・アメちゃん達がいるよ。早く行ってお菓子を沢山、取っておいでよ。」チュン君は走るのが速い。どんどん森の奥へ行った。６階建ての塔が見えてきた。「あっ！あそこだ。」

チュン君はうれしかった。塔の入口には見張り番がいた。「中に入ると大変だぞ。お菓子を取るのはよいが、彼らにつかまると殺されてしまうぞ。それでも中へ入りたいか」「うん。」チュン君は答えた。ドアはギーッと音をたてて開いた。チュン君は中に入り小走りに前進した。うしろからかたつむりに似たやつが追いかけてくる。あれがナメちゃんなのだ。飛び出した２つの目を上下にしながら、ひょこひょこ追かけてくる。丁度、レンガの横に釘が打ってあり、上に登れるようになっている。チュン君は、急いでこの釘に足を掛け登っていった。ナメちゃんがまだ追いかけてくる。続いて前から体をクネクネさせた、アメちゃんが来た。とっさに上の階へ登った。彼らは、２匹共まだついてくる。ドアがあった。ドアを開けるとタイミング良く彼らはドアの中に入ってしまった。ほっとした時、上からインベ君がバタバタやって来た。「ワーッ」チュン君はあわてたので、ドアを半開きのまま、逃げ出してしまった。すると閉じ込めたはずのナメちゃんとアメちゃんが再び飛び出して来た。今度は３匹になってしまった。彼らは全くしつこい。どんどん追かけてくるのだ。「あっ、道にキャンデーが落ちている」こう叫んでチュン君はそれを拾った。食べるひまもなく、手に取ったまま、また上の階へと行った。

ドアが見えてきた。今度こそ、と思いドアを開けた。思った通り彼らは、ドアの中に入ってしまったので、チュン君はゆっくりドアを閉めた。ほっとしていたのもつかの間、突然、塔の中が暗くなり、再び彼らが数を増して追いかけてきたのだ。

さあ、チュン君は安全な場所へ出られるのだろうか……。

郵便はがき

40円切手をおはりください。

160-□□

東京都新宿区西新宿
七丁目十五番十号

株式会社 エニックス
商品部行

御氏名		年令　　才	男・女
御住所	(〒　　－　　)		
TEL			
御職業(学校名)			
商品名		機種	
登録番号	※	※	

メンテナンス登録カード

当社は本カードにて登録していただいたお客様に対して万一商品に欠陥があった場合、対処方法を直接お知らせいたします。参考まで次のアンケートにご協力願います。

アンケート

1．ご購入日______年______月______日

2．ご購入ショップ名________________________

3．ご購入いただいた商品は何でお知りになりましたか？

①専門雑誌（　　　　）　②ショップ店頭　③テレビ　④その他（　　　）

4．当社商品をご購入いただいたのは

①初めて　②____回目

5．商品に満足いただきましたか？

①満足　②まあまあ　③不満

ご意見

6．その他当社へのご意見等をお聞かせください。